

村上市総合計画審議会 会議録

会議名	第1回 村上市総合計画審議会
年月日	令和6年6月26日(水) 14:00~16:00
会場	村上市役所 5階 第5会議室
出席者	<p>【委員】 飯塚委員、岩佐委員、佐々木委員(オンライン)、穴戸委員、仲委員、長島委員、畠山委員、八藤後委員 ※欠席 青山委員</p> <p>【村上市】 須賀政策監 企画戦略課：山田(美)課長、忠課長補佐、中山係長、増子係長、山田(浩)主査、安藤主事</p>
議事内容	
[進行]事務局	<p>1 開会 〈あいさつ〉</p> <p>2 挨拶 〈あいさつ〉</p> <p>3 議事 (1) 令和6年度村上市総合計画審議会の進め方(案) (資料1) (事務局が資料を説明)</p> <p>(2) 第3次村上市総合計画等の進捗状況(令和4年度・5年度) (資料2、付表、資料3、資料4-1・4-2) (事務局が資料を説明)</p> <p>○資料4-2の27ページ「学力向上対策事業」について 小学校6年、中学校3年のNRT偏差値平均で、令和5年度の実績値が令和3年度・4年度より下がっている。特に国語・数学等が少し下がっているようだが、コロナ禍の影響が今頃になって出てきたのか、どのように原因を分析されているのかが気になった。また、下がったことによって、令和7年度、8年度の目標値との乖離が少し大きくなってきている。この事業に関しては、1年2年で劇的に改善するものでは恐らくないので、目標値の設定をもう少し下げるか何かの形で、検討した方がいいのではと思った。</p> <p>○資料4-2の27ページ「教育支援センター事業」について 不登校発生率が令和5年度の数値が、特に小学校で令和4年度以前の数値より急に上がっている。一定程度の不登校の生徒がいるのは、ある程度ありえることかと思うが、バックアップというのか、対策に取り組む計画があるのか知りたい。</p> <p>○資料4-2の29ページ「社会教育活動支援事業」</p>
会長	
事務局	
委員	

	<p>学習展開目的講座の開設数がC評価になっているが、令和7年度の目標値が5講座になっていて、講座を開設されるのは、講師の手配や場所などに関して、様々なセットアップするための手間暇がかかるので、実施される部署の体力に見合った目標になっているのか気になり、目標の見直しが場合によっては必要なのではと思う。横串のデジタル欄にオンラインのアーカイブ配信等をしていることに関しては、継続的に進めていただければと思っているが、そうした部分も含めた目標設定の仕方もあると思った。</p> <p>○資料4-2の2ページ「子育て応援タクシー利用補助事業」について 利用者数（病児）の実績値0が気になったが、元々病気の子どもは親が付き添っていないと難しいところもあるあたりを含め、需要がそもそもあるのか、親が車で連れていくケースもあるかと思ったが、制度の周知がまだまだ足りないのか、原因をどのように分析しているのか。</p> <p>○資料4-2の5ページ「国民健康保険医療費適正化事業」について 令和5年度から令和8年度の目標値が3年で422,000円以下となっているが、実績値を見るとそれ以下になっているので、何故C評価になっているのか、その根拠が知りたい。</p> <p>○資料4-2の6ページ「介護職員人材確保促進事業」について 介護人材バンクマッチング人数の実績値が0になっているので、何らかのアプローチの仕方を変えるか、目標値の設定を見直す必要があるかと思った。</p> <p>○資料4-2の20ページ「村上茶振興対策事業」について 栽培面積が令和3年度・4年度に比べ、令和5年度実績値だけ急に数字の落ち込みが見られるため、この原因が何なのか気になる。原因により目標値の設定の見方が変わってくるように思う。</p>
事務局	<p>「学力向上対策事業」のNRT偏差値平均については、その年によって上がり下がりあるのではないかとご意見をいただいています。直接的な原因がどこにあるのか、はっきりした理由がわからないというのが現状かと思っています。今回下がった理由としては、不登校率も上がっていますので、そうした背景があって、授業に集中できてないということも多少あるかとは考えますが、引き続き原因も含め、どのように学力を上げていくのか考えていく必要があるかと思っています。</p>
会長	<p>本日いただいたご意見は、事務局として回答を持っているものは答えてください。なければ、確実に担当部署につなげて、次回会議で担当部署からの回答という形でお示しいただければありがたいと思います。</p>
事務局	<p>「教育支援センター事業」の成果指標の不登校発生率が増えたのは、村上市だけでなく、全国的に増加傾向にあります。村上市の不登校の要因として多いのが、「無気力、不安」、「生活リズムの乱れ、遊び非行」、「親子の関わり方」、「学業不振」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」の順になっています。また、長期にわたるコロナ禍で、学校が休校することが増えたことで、学校を休むことの抵抗が下がってしまったことや、保護者側も休ませることへのハードルが下がったことなどの意識の変化も影響していると考えています。生徒一人ひとりの状況に応じた個別の対応策が必要ですが、学校だけでなく、関係機関や保護者と連携して対応することが重要だと思っています。不登校への対応の一つとして、学校で活用して対応に役立ててもらうために、「不登校対応のポイント」を令和6年度改訂しました。未然防止と早期発見が極めて重要だと考えてお</p>

事務局	<p>りますので、個々の状況に応じた手厚い支援で対応していきたいと思っています。</p> <p>社会教育活動支援事業の学習展開目的講座については、資料を持ち合わせていませんので、次回お示しします。</p> <p>「子育て応援タクシー利用補助事業」については、昨年度まで乳幼児3歳に達した最初の3月31日を迎える者を対象としていましたが、令和6年度より12歳に達した最初の3月31日までの者に対象年齢を拡充し、制度を少し見直して様子を見たいと担当課より聞いています。</p> <p>「国民健康保険医療費適正化事業」の実績値がC評価の理由ですが、目標値が令和8年度までに422,000円以下にする設定です。令和4年度と令和5年度を比較すると、9千円増えていますので、このペースで増え続けると、来年度すでに422,000円以上になってしまうということでC評価といたしました。</p> <p>「介護職員人材確保推進事業」については、他の自治体の事例もあり、介護人材バンク事業を始めました。ただ、村上市の場合、登録者も少ない状況であり事業自体の実施について、今見直す段取りで進めているところです。</p>
会長	<p>特に指標がゼロのものについては、制度改正を行うなどして取り組んで、まずは、今の目標のまま進めていくということですね。</p> <p>ちょっとイレギュラーではございましたが、順番通り進めます。「基本目標1子育てと健康のまち」につきまして、ご意見いかがでございますか。</p>
委員	<p>○資料4-2の6ページ、「生活支援体制整備事業」について</p> <p>令和5年度実績値が50%に下がっていますが、働いている中での感覚として、周りの方が同じぐらいの年齢であり、お互いに支え合うことが大変だとおっしゃっています。お隣も90歳、そしてまたお隣も90歳というような状況であり、頼ること自体が困難だと感じる方もいるようです。</p> <p>令和7年度の目標値は56.8%と設定されていますが、村上地区の目標値の設定であれば妥当だと思いますが、支え合うことが困難な中山間地域では、どのように改善策を実施していくかが非常に重要なポイントとなっていくと感じます。</p> <p>○資料4-2の6ページ「一般介護予防事業」について</p> <p>昨年度実績値は、令和7年度目標値を達成していますが、令和8年度は84歳を目指していますが、最終的にどの程度まで目指しているのかを決定する必要がある84歳を目標設定されたと思います。</p> <p>現場での観察から、要介護の人の中には介護でもいいかなと思う方が介護になっていなかったり、実際に必要な支援が必要とされている人に支援が届いていないケースが見受けられる。平均年齢を引き上げるだけでなく、必要な人に対して適切な支援が行き届くのかと感じていますので、年齢で考えると市として何歳が一番目標値になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>先にご意見いただいた「生活支援体制整備事業」につきまして、ご指摘の通り、事業を実施する中心となっている方が高齢になってきており、次の人に引き継ぐことがうまくいかず、実施が困難になっている地域があります。現在、担当者は各支所の保健師と連携しながら対策を進めており、それぞれの地域に「互近所ささえ～る隊」を設置し、取組を進めている状況です。</p> <p>また、地域によってもその差はあるため、各支所と連携を図りながら地域主体</p>

	<p>で取り組むことが重要です。担当課からは、このような取組を進めていると聞いています。</p> <p>次に「一般介護予防事業」につきまして、目標値が達成する見込みですので、目標値を変更することも考えられますが、具体的な年齢については担当者に確認していませんが、委員のご意見通り、年齢を上げるだけでなく、支援が必要な方々に適切なサービスが提供されているかどうかも重要です。年齢を上げるだけでなく、他の事業も見逃していないか、その点も注意を払っていく必要があると思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>要介護・要支援の認定を仮に85歳を目標にすると、市役所は85歳未満の方に対して認定をしないこととなります。年齢を目標値にすると、このようなバイアスがかかってしまいます。介護保険は、必要とする人にサービスが行き届くことが重要であり、年齢に基づいた目標設定によって本来必要な人にもサービスが行き届かなくなることは、制度の趣旨と反対になりますので、次の計画で目標値を設定する時は、慎重な議論が必要だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>通常一つの集落や町内でコミュニティーを形成します。中山間地域では、隣接する集落や2、3ヶ所の集落で、例えば消防団や除雪のボランティアなど、地域を越えた連携を進めるような動きが出ていますので、その中で検討できないか考えていきたいと思っています。</p> <p>また、先ほどの「一般介護予防事業」ですが、会長のご意見のとおり、年齢を上げて、介護サービスを受けることができない事態は避けなければなりません。必要なサービスが全ての方に提供されることを前提として、その後に健康な状態で目標年齢に到達するための取組をお願いしたいと考えています。関連するサービスについては、十分な普及を図られるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>○資料4-2の3ページ「保育士資格取得支援事業」について</p> <p>これがC評価の時点で、もう少し取得しやすい体制ができるのではないかと感じます。私の近所でも今年駄目だったと言われるご家庭が身近に存在し、まだ職員が不足しているのかと感じました。最初は子どもの数が多いのかとポジティブに受け取りましたが、保育士から詳しく聞くと、実際は職員が不足していることがわかりました。保育士自身にも小さい子どもがいて、土曜保育の出勤が辛いなど、やっぱり保育士は大変だよねというマイナスイメージがよく出てきます。マイナスイメージを払拭する何かがないと、支援事業に力を入れても、そもそも保育士に保育士資格を取得しようと思わない方が多いのではないかと感じました。</p> <p>やはり、子どもが育てやすい環境で暮らしたいと思う人は、今働き盛りの年齢層であることから、仕事と子育ての両立が一番大変な時期になります。その点で、保育士の存在は非常に重要だと思います。</p> <p>○資料4-2の6ページ「基本目標1 子育てと健康のまち 1-3 高齢者福祉」について</p> <p>高齢者福祉の全体的な意見として、子育て関係はA評価がとても多く、良い傾向だと思いましたが、高齢者関係ではC評価が増えていきます。ご高齢の方は、できないことがあって不便を感じていても、大丈夫だと言います。民生委員側としても大丈夫ですかと言ってはいけませんと講習で教えられます。</p> <p>「大丈夫ですか。」と聞くと、「大丈夫。」と答えるだけで、他の言い方ができません。様々な高齢者支援がありますが、それでもなかなか受入れがたいと感じる方もいらっしゃると思います。支援を受けることが、自分が弱い立場に置かれることを意味するのかわかれるため、高齢の方にはこのような考えを持つ方も多くみられます。これが評価Cに繋がる要素の一つかもしれません。</p> <p>あとは高齢の方がお1人で暮らしていて、ご家族が県外にいる場合、支援があ</p>

事務局	<p>ることすら知らなかったり、民生委員との連絡が難しかったりすることがあります。こうした連携が円滑に進んでいないので、この資料だけで全てではないですが、評価Cの部分では、行政が頑張っていることが市民にどう受け取られているのかという意味での評価につながります。行政の努力はわかりますが、評価Cになるのは、やはり連携の部分にもつながるのではないかと思います。</p> <p>「保育士資格取得支援事業」についてですが、現在市が運営する保育園に、保育園補助者として勤めている方が82名います。この方たちが保育士資格を取得後、村上市内の保育園に勤務する意志がある方に対し資格取得に要した経費の補助金となっています。今現在で8名の方が、この資格取得に向けて進めているところです。8名の方全員が資格を取得して、就職していただきたいと考えていますが、対象になる方は他にもおられます。委員のご意見の通り、保育補助者から保育士になることに対して、何か抵抗があるところもありますので、担当課にお伝えしたいと思います。</p> <p>また、介護事業につきましても、連携が円滑に進んでいない部分があるのかというところは、委員のご意見を担当課にお伝えしたいと思います。</p>
会長	<p>医者に「何か悪いところはないですか」と聞かれても、「悪いところは、ありません。」と我慢してしまい、後になって重態化するよりも未然に防いで、早めにケアすることが医療や福祉、保険に必要だと思いますので、より適切な需要を察知することに市役所も少し工夫してみたいと思います。</p>
事務局	<p>委員は民生委員という市民に身近な相談役としてご活躍いただいていますので、そういった部分が悩ましいのではないかと思います。最近では地域で、あまり近所の方の健康状態などについて話されないかもしれませんが、そのような情報も非常に重要な情報になると思いますので、互近所ささえ～る隊を含めた地域のコミュニティーを大切にしていける必要があると考えています。</p>
委員	<p>互近所ささえ～る隊に一度説明に来ていただいたのですが、社協が担当されているのでしょうか。福祉課というより社協の方が担当なのでしょうか。</p>
事務局	<p>コーディネーターということで、村上地域では社協が互近所ささえ～る隊の隊長として対応していると思います。</p>
委員	<p>予定が合わなかったり、他の業務で忙しいようでしたので、社協の方以外でも対応できる人がいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>互近所ささえ～る隊は、地区によっては別の方がコーディネーターをされており、体制が若干違いますが、社協だけにおまかせすることなく、市職員もそのときまたまいなかったんだと思いますが、一緒に活動しています。</p>
会長	<p>続きまして、「基本目標2豊かで安心なまち」これは防災や消防など、社会資本の関係についてでございます。</p>
委員	<p>11ページの「特殊詐欺等対策」ですが、最近、投資詐欺に関する相談を受けることがあり、私自身も担当した事件もありました。その方々から同じような投資に関わっている人が多いという話も聞きました。潜在的な被害を受けている方々は、相当数いるのではないかと思います。金額でいえば1,000万円単位のレベルで被害を受けているところもあるので、恥ずかしかったり、家族に知られると大変だとか、なかなか人に相談できないことだと思いますので、そもそも被害を受けることがないよう、周知徹底する機会を改めてしっかりと設けたほうがいいのか</p>

	<p>ではないかと思えます。</p> <p>また、刑法犯の発生件数で、目標値として 200 件になっていますが、200 件以下ということであることよろしいでしょうか。</p> <p>次に、14 ページ「上水道老朽管更新事業」の関係で、令和 4 年度実績値が 3.5 ポイント下がっているのは、水害の関係で復旧が必要になってしまったのか、それとも別の理由があるのでしょうか。</p> <p>○河川整備事業について</p> <p>河川海岸について、事業内容と少し違いますが、砂浜の減少が新潟県内でも問題になっていることを最近ニュースで見て、村上市の海水浴場などでも問題になっているのでしょうか。</p> <p>○資料 2-9 の 16 ページ「各種公共交通機関の利用促進」について</p> <p>「公共交通の収支率」について、収支率がなかなか低いのは仕方がない部分があるかと思えますが、利用者数が少ないので収支率が低いのか、それとも運賃と利用料金の経費のバランスが合っていないからなのか、何が原因で収支率が低いのかというところで利用率が明示されていると、原因がわかりやすいのではないかと思います。</p> <p>○自動運転の実証実験について</p> <p>どの部分に該当するかは別なのですが、最近自動運転などが発展してきていて、福島県など、南相馬かどこかが自動車メーカーと共同して自動運転の実証実験をしているようです。自動運転などの技術が発展すれば、高齢の方でも安心して移動できますし、冬には、場合によってはホワイトアウトするところもありますので、将来的に公共交通機関の代わりになると思えます。交通インフラの整備が村上市の地域で重要になってくると思えますので、そういった先端技術の導入を積極的に検討していただきたい。</p> <p>○資料 2-9 の 18 ページ「空き家等管理不全防止対策」について</p> <p>私は、財産管理や清算といった仕事をしていますが、業者から解体費用が年々右肩上がりになっている話を聞きました。私どもでも解体が必要な建物を管理していますが、解体費用が管理している財産の倍以上かかりそうで、中には到底無理な案件もあります。まだ村上市では費用助成がないかと思えますが、費用助成などの支援制度があれば、空き家の解体に着手する人も出てきて、一層空き家問題が解消できることにつながりますので、支援制度の整備を早急に取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>海岸侵食についてですが、村上市で今言われているのが塩谷海岸で砂浜が浸食されているということで、新潟県が海岸管理をしています。階段のところには堤防のようなものをつけて、砂川が寄ってくるような工事を進めています。実際に成果も出ていますので、引き続き新潟県にお願いしていききたいと思います。</p>
事務局	<p>公共交通の収支率についてです。燃料は当然最近上がっていますし、逆に利用者が少なくなっている現状もあります。利用が少ない路線を見直して、乗り合いタクシーに移行する計画をしており、これから皆さんにホームページで周知して、ご意見を頂戴して、今年の 10 月から改定する予定です。一気に改善ではないですが、少しでも利用しやすい公共交通に努めています。</p> <p>「自動運転」に関しては、今のところ計画はございません。ただ委員がおっしゃる通り、県内でも弥彦村や各地で始めていますので、その辺の状況を聞きながら、検証しながら村上市にも適しているか研究していかなければならないと感じております。</p>

事務局	<p>補足ですが、自動運転についてです。まだ夢のような話ですが、今村上駅周辺街づくり事業で、再開発を進めています。病院が村上駅の反対側にありますので、自動運転で行くことができれば、高齢の方でも移動が簡単にできるようになるのではないかと、といったアイデアはあります。</p>
会長	<p>それでは、「基本目標3 魅力ある賑わいのまち」についてです。 こちらにつきましては、本日欠席の委員から事前にご意見ちょうだいしていますので、ご披露した上で、そのあとに委員からご意見を賜りたく存じます。</p>
事務局	<p>委員から4点ほどご意見をいただいております。</p> <p>○資料4-2の19ページ 「新規就農者等支援事業」について SNSを各種媒体による発信について、ターゲットを絞った発信も必要ではないか。新規就農希望者が多く利用する相談窓口と連携したPRをしてはどうか。農業高校・大学の就農率が低いことから、別のルートも必要ではないか。移住や空き家探しを考える人への支援策である「交流定住促進事業」との連携が有効ではないか、というご意見をいただきました。</p> <p>右側に市の考えがございます。農業に興味のある人や農業を始めたい人向けの情報サイト、「農業を始める.jp」での掲載を検討していきたいと思っております。相談については村上管内の関係機関に就農相談に来られた方に対して、村上市の支援策を案内してもらっております。</p> <p>交流定住促進事業では農作業体験をしておりますので、体験を通じて農業に興味を持たれた方に、新規就農に繋がられるような取組ができるか検討していきたいと思っております。</p> <p>○資料4-2の19ページ 「むらかみ食材魅力向上事業」について 新たな顧客開拓として、若年層の心に響く情報発信として「交流・定住促進事業」と連動させてはどうか。同事業では「村上市出身の学生に学生応援便」として特産品の送付を実施したとある。応援便を受け取った学生に、特産品をPRするキャッチコピーを考えてもらうなどの形で返礼してもらう。柔軟なアイデアが出てくるのではないかとということです。</p> <p>市の考えとしましては、利用した学生から特産品を生産した事業者へのメッセージを収集して、事業者へお届けしております。その収集スキームを活用して、特産品のキャッチコピーなどのPR方法を、学生の柔軟な把握をして考えてもらうことは有益だと考えますので、第13弾が実施される際に検討したいと思っております。</p> <p>○資料4-2の20ページ 「林業担い手育成支援事業」について 「林業チャレンジ体験事業」や「モクリンフェス」についてです。担い手育成と繋がるのか。木育推進事業の方がマッチするのではないかとのご意見です。</p> <p>市といたしましては、森林林業に興味関心を持ってもらうことを目的に、小さなときから森や木に親しむ機会を作り、市民一人一人の意識を高めていく取組として、この事業を実施しております。この事業で、子どもたちが大きくなった時に担い手の確保に繋がることを期待しております。</p> <p>○資料4-2の22ページ 「水産物消費拡大事業」について 将来の消費者である小中学校での給食での提供は効果が認められるが、水産物</p>

<p>会長</p>	<p>の消費減少が著しい大人の消費者向けのPRも意義がある。出張販売の経費を一部支援するような取組があれば、消費拡大に繋がるのではないかというご意見です。</p> <p>市の考えでは、給食での水産食材提供はテレビ等で取り上げられ、視聴した大人にも関心と呼んだと思っております。一般消費者に対する消費拡大の取組を模索していきたいと考えております。</p> <p>委員からのご意見と、それに対する市の考え方を披露していただきました。続きましてご意見お願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>「基本目標3魅力ある賑わいまち」全体でございますが、農業から就労まで7項目あり、資料2に棒グラフがあります。この項目A評価は少ないのですが、その分B評価が多いということで、AB合わせますと75%超えているということで、よろしいかなと思います。</p> <p>19ページから3つ目、「有害鳥獣捕獲の担い手確保事業」ですが、評価Cとなっております。村上市も毎日のように出沒しており、私の周りにも捕まえる方々が大勢いらっしゃいますが、見ていると昔ながらの人が多く、高齢化が進んでいるなど思っておりました。そこで、この実績値を見ると令和2年度から18人、24人、10人、6人まで下がっているため周知を進めるとありますが、令和8年度目標値が20人になっていますので、どの辺をターゲットにどのような周知を進める予定なのかお伺いしたいです。</p> <p>次に「村上牛生産振興対策事業」です。こちらでも評価Cということで、要因のところに規模の大きい畜産農家が一時体調不良のため生産をストップしていたと過去系で書かれているので、復活しているのかなと推測しています。令和5年度の頭数から、7年度の目標値に差があるので、この辺のところをご説明いただきたいです。</p> <p>続けて20ページ、先ほど委員からも意見がありました「村上茶振興対策事業」についてです。こちらでも評価Cで、下がった分どうなっていますかということでございました。</p> <p>取組を見ますと、販売促進ということですが、長い目で見ると販売が増えて作付が増えていくと思うのですが、直結しないのではないのでしょうか。減った分の茶畑、まだお茶が植わっていると思いますので、どなたかに引き継いでもらうのであれば、そういった取組はどうなっているのかお聞きしたいです。</p> <p>21ページ、政策分野3-3水産業が3項目全て評価Cです。</p> <p>ただ、漁業の新規就業者数の実績値が、毎年10人ずつ、毎年新しく水産業に入っているのかなと。すごいなと思っておりましたが、この辺のところ、目標値10人ずつ増えているのに、C評価なのかと思ったのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>累計値かもしれません。</p>
<p>事務局</p>	<p>累計になっております。増ゼロということです。</p>
<p>副会長</p>	<p>新規就業者の確保に努めることに、非常に難しいご苦勞をされているのではないかな、というふうに推測します。</p> <p>続きまして、その下「水産振興事業」こちらでもC評価で、放流がニュースになりますし、取り組んでくださっていますが、実際取れ高として上がってきていない。この「不漁の背景を探り…」ということですが、温暖化だから帰ってこないのか、それともさらにたくさん稚魚を放流すればたくさん帰ってくるのか、知りたいと思います。</p> <p>続きまして、24ページ「ホームページサイトでのモデルコースの情報発信」です。村上市のホームページから観光のところを見させてもらって、実際このモデ</p>

事務局

ルコースは、観光協会のホームページに載っています。村上市のホームページから下に降りていくと観光協会のバナーがあるのですが、全然目立っていません。村上市に住んでいる人は、観光協会を見ようと思いがちですが、遠方の方々は、村上市のホームページを最初に見るような気がしますので、バナーを、観光情報がさらに詳しいのはこちらみたいな感じで目立たせたらどうでしょうか。リンクがせっかくありますので、気づかないでスルーしてしまう感じがします。そこは変えていただきたいと思います。

最後、「3-7就労・雇用」は評価がAとBしかなく、素晴らしいですが、地元の企業が本当に苦勞なさっているのが人手不足です。仕事はあるけれども、いくら募集をかけても人が来ないということは様々な業種で同じように起こっているにも関わらず、評価がBなんだなと感じていますが、ここは人口減少や子育て、その次はやはり就労になってくると思っていますので、何とか地元の子どもたちが、大学に行っても村上市に戻ってくるような取組がさらに必要かと思いました。

まず1点目、有害鳥獣についてですが、残念ながらC評価ということで、わな取得者数が実は前年の被害状況に大きく左右される指標になっております。令和4年度のわなの取得が主にイノシシなのですが、イノシシ被害が余計な年は、農家などがイノシシを捕ろうとするため、翌年のわな取得数が増えますが、令和4年度は被害が少なかったということも6人という数字に影響しているのかと思われます。市では、ハンターの保険料など上限54,000円で補助していますので、今後も取得者数の増に向けて、努力していきたいと思っております。

次の村上牛の振興ですが、残念ながら実績値より大幅に減ってしましまして、今現在、村上市の村上牛生産者は12業者ありますが、ほぼ高齢化が進んでおり、70代後半の方々です。このままですと、この数がどんどん減ってきますので、今後は農協と連携しながら、今ある補助が村上牛に認定されたら10万円という補助ですが、今後は後継者育成の補助にシフトしていく必要があるということを担当課でも考えています。令和7年度中に農協と連携して新たな補助ができないか、今検討中です。

続きまして、村上茶についてです。こちらは大分急激に減ってしましましたが、実は2業者が生産中止してしまったことが減った理由です。その2業者を違うお茶屋さんやお茶栽培の人が引き継いでいただけたらよかったです。残念ながら1ヶ所は資材置き場に転用になってしまいました。もう1ヶ所については、耕作放棄地のようになっていて、担当の方でも耕作放棄地が藪化すると先ほどの有害鳥獣の被害にも繋がってきますので、何とか茶業組合の方と相談しながら、今後の対策を検討している状況でございます。

次に21ページ、水産振興事業。こちら現況値からどんどん減ってきて、昨年度は1500tまで下がってしまいました。村上市の水揚げが多いのは、マダラとスルメイカとイナダ、量的にはこの三種類が一番多いのですが、この三種類の中で落ち込みが激しかったのがスルメイカで、前年度比の29%しか水揚げがありませんでした。これが大きく影響したため、C評価となってしまいました。原因ですが、水温なのかどうかというと、村上市だけではなく全国的に去年はイカ不漁でした。はっきりした原因は掴めてない状況です。原因としては、スルメイカの水揚げの減少が大きく響いてしまったということでございます。ただ水産業に関しては、新たな取組として村上市ののどぐろを、県と連携してブランド化を目指して、今年度中に協議会を立ち上げて取組を始める予定です。

次に、ホームページも去年大幅に下がってしましましたが、村上市のホームページのアクセス数は県内で5番目の上位に入っていますので、アクセスは多いのですが、落ち込みの原因がまだわかっていない状況です。

最後に就労関係ですが、新規採用についての取組がございます。高校卒業すると50%以上が市外に出てしまう状況ですが、村上市内の大手の企業がなかなか若

	<p>い人に魅力を伝えるノウハウを持ってないので、リクルートと連携してノウハウを利用して取り組んでいこうと担当課では考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは続きまして、「基本目標 4 人が輝く郷育のまち」は先ほど委員からコメントちょうだいしましたが、ご意見お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料 2 の表を見ますと、基本目標 4 は B 評価の割合が低く、A C の割合が高い。事業数そのものが他の目標に比べると少ないため、C 評価が 32% で目立っていますが、必ずしも全体で良くないのが多いというわけではなく、事業数の少なさが出てきてしまったかなと感じています。</p> <p>私は、子ども子育て会議などや保育園の適正の配置などの委員で、村上市に随分長くお邪魔して参りました。様々な村上市の社会問題に共通するのは、やはり人口減少が様々な問題に大きく関わっていると感じています。人口が少なくなっているために様々な問題があって、難しくなっていると感じるのですが、ただ、日本政府も同じですけども、その最大の問題に目を向けて、どれだけ市の人口を増やす努力をしているのか。肝心な部分は回避しているような印象をこれまで受けて参りました。</p> <p>この「人が輝く郷育のまち」ですが、特に悩ましいのが 27 ページの「学力向上対策事業」です。学力向上についても、人口が減少すると子どもたちが様々な学びに関係のない刺激を受けることが少なくなってしまう。同じような子どもたちの中で成長していくということで、中にはとても優秀な子どもも出てきますが、同じような子どもたち、同じようなメンバーで成長していくというのは、環境的にあまり望ましいものではないと考えています。これは、新潟県全体でそういう傾向が見られます。ですから、少しでも子どもたちに刺激を与えられるような環境ができて欲しいと思います。また、そういう閉じたような、子どものコミュニティ、学校がありますとその中では居心地が悪くなる子どもも出てきますので、不登校の問題で「教育支援センター事業」がありますが、そういうところでも、現在の人口減少の中で起こってくる閉じたコミュニティ化している学校の現場が、もしかしたら悪い影響を与えるのではないかと考えています。</p> <p>そして、C 評価になっている事業では、29 ページの「社会教育活動支援事業」、そして 30 ページの「文化芸術振興事業」があります。委員からご指摘がありました。市が資源としての人が減っていくという時に何を回復していくかといったら、一つ、魅力ある人が来るまちになって欲しいということです。あとは、現代社会の通信技術の発達がありますから、市外の様々な知恵や力をデジタル化した社会で交流を促進していくという解決方法があると思います。</p> <p>文化芸術の分野についても、もっと交流を促進して、市に新しい知見、新しい経験、新しい情熱が入ってくるような環境の整備をデジタル化した社会を武器に、伸ばして欲しいと感じています。</p> <p>「基本目標 5 多様性が広がるまち」の 33 ページ「交流・定住促進事業」についてです。委員の方で様々な産業の方でも、交流促進事業の連携が有効というご意見もありましたし、先ほどの委員の話でも人材不足とありました。人口減少によって、人という最大の資源が減ってしまっているため、様々な問題が顕在化していると感じています。</p> <p>また、様々なニュースでも注目されている「地域おこし協力隊推進事業」です。村上市の人口減少に少しでも刺激を与えるような、ホームページ交流などの活動を通じて交流を促進することで、子どもたちの学力の向上や文化芸術面の発展に良い影響を与えることが期待できると考えています。</p> <p>そして、少し横串的な話になりますが、この「基本目標 4 人が輝く郷育のまち」で、どのように情報発信して交流を図っていくのか。すごく魅力がある町ですが、その魅力の発信がまだまだ十分ではない気がしています。他の人口減少に</p>

事務局	<p>悩む離島や地域では、様々な取組が行われています。その知見を取り入れて、村上市でも、人口増加や情報交流の活性化を図り、活力を高めていてもらいたいと考えます。</p> <p>人口減少は、村上市だけでなく、私たちも重要な課題として捉えています。子育てから様々な総合計画全般にわたって関係するものであります。村上市では子育てをその中でも一番力を入れていますし、定住につきましても、政策監が関わった事業で取組を進めております。地域おこし協力隊についても、デジタルデバインド、デジタル関係で来てもらえないか現在募集しています。多種多様な形で地域おこし協力隊として来ていただいて、村上市を応援いただき、発展してもらうようなことを他にも考えております。残念ながら今のところ人口は緩やかに下がっていくようなイメージですが、今委員おっしゃいました情報発信と交流によって、少しでも村上市の人口を増やしていけたらと考えております。大変ありがとうございました。</p>
政策監	<p>私に関わったということで、33 ページ「交流定住促進事業」の横断的視点の欄で、子育てのところに、令和6年度からショートステイプラス保育園利用移住体験事業の実施している事業がございます。</p> <p>中身としては、メインターゲットとして、保護者とお子様は保育園の一時預かりを活用して1週間から2週間程度、滞在していただいて、市内の公立の保育園で地元の子どもたちと交流して、お友達を作っていただく事業でございます。</p> <p>また、滞在の間には体験事業をこちらでコーディネートさせていただいて、例えば農業に興味があれば農業体験をご案内したり、また市内を観光したいということであれば観光案内したりというような事業をしており、村上市の交流人口を伸ばせるように、移住体験事業を始めました。市民課とこども課で、課を跨いでいるということで私が指名いただきまして、コーディネートさせていただいた事業です。</p>
会長	<p>それでは「基本目標5多様性が広がるまち」につきまして、委員からコメントを頂戴したいと存じます。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>資料4-1の目次の2枚目に「5-1共生社会」の男女共同参画促進事業に「子」とありますが、これは、横串が子育てと健康のまちの「子」ということでよろしいですね。</p> <p>横串の意味で考えた時に、以前意見を聞かれたことがあったかと思います。私は、全部に関連していますと話をさせていただきました。例えば「基本目標2豊かで安心なまち」というのも、防災に関わっています。「魅力ある賑わいのまち」も、雇用や若者、定住などで関連していますし、すべてに関連しているということで表現していただきたいと思います。村上市の考えがあるかと思いますが、その辺をお聞きしたいです。</p> <p>それから後半の方の共生社会について、32ページの「市内外国人の人数」に、成果指標、実績値、目標値がありますが、事業もあるのではないかと思います。その辺の考えをお聞きしたいなと思います。それが空欄のところは34ページ（総人口）や、36ページでも多いのですが、その辺の考え方をお聞きしたいです。</p>
会長	<p>総人口、成果指標のみということですね。</p>
委員	<p>32 ページ4 段目で「国際交流推進事業」の事業概要や取組については書かれていますが、成果指標等が明記されていません。どちらも明確に示されることで、どんな取組が行われているのか、どのような指標や目標を設けて取り組んでいる</p>

	<p>のか、現在の状況はどうなっているのか、ということが分かりやすくなると考えたところでは。</p> <p>それから、35 ページの市ホームページのアクセス数がC評価ですが、LINEの方はA評価で数字も良くなってきています。ホームページのアクセス数の大幅な減少については具体的な要因がわからないため不思議に感じています。</p> <p>それから、32 ページの「人権・同和対策事業」について、LGBTをテーマとした取組はとていいと思います。この取組の対象は教員や市民の皆さんですが、実際には子どもたち自身が苦しんでいることもあります。10人に1人の割合でLGBTの方達が存在すると言われており、数日前に当事者の声を聞いた際にも、子ども自身が自分らしさや生きづらさについて非常に悩んでいることがわかりました。子どもたち自身が抱える生きづらさや課題に対しても敏感でなければなりません。子どもたちを理解し、適切なサポートをすることは、人権の観点からも非常に重要です。</p> <p>すべての人は同じであり、子どもたちに対して働きかけや啓発をすることは、非常に重要だと感じます。子どもの視点で、子どもが生きやすい社会にすることも大事だと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。まず総論、全体に関わる話で、ご意見等賜ったとともに、今の直近のもの、32 ページ及び35 ページの項目につきまして、コメントを頂戴したところでございます。全体の方針について、何か事務局の方、お考えありますか。</p>
事務局	<p>横申のことですが、昨年度委員から男女共同参画の部分で、すべての事業に関わるというご意見は頂戴しておりました。我々も承知はしておりましたけれども、なかなかその部分を意識して具体的に何を事業に盛り込んだのかというと、その視点が弱く、まだそこまでの取組がなされていないということで、今回は具体的な取組が上がってきたものについて、横申ということで、表現させていただいてますが、引き続き取り組めるところを考えながら進めていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>我々の宣伝も悪いのですが、気づいてない担当もおります。例えば避難所の設営では、女性用のテントを張る、授乳室を設けるなど、そうした取組は実際やっています。取組は行っていますが、男女共同参画という横断的な視点に気がつかないということもありますが、しっかり担当課に働きかけをしていきたいと思っております。</p>
会長	<p>例えば32 ページの一番上の人権同和対策事業に関連しまして、その子どもに直接働きかけていってもいいのでしょうか。</p>
委員	<p>LGBTに関しては非常にデリケートな部分ですので、市町村によってはまだ取り組んでいないところもありますが、村上市は真剣に取り組んだことが大前提にあります。さらに、子どもたち自身を受け入れることができる環境を作ることです。そのためには、教員や保護者からの働きかけが大切だと思います。</p>
事務局	<p>直接子どもについてはではないですが、今年の3月からパートナーシップ制度とファミリーシップ制度をスタートさせました。</p>
委員	<p>県内でも早い方だと思います。</p>
事務局	<p>それから、成果指標と事業が空欄になっているところについてですが、令和3年度に総合計画を策定しましたが、今ほど認識が十分ではなかったと感</p>

	<p>じていますが、国際化などの時代の流れに追いつくためにも、一部の目標において見直しが必要であるかと感じています。</p>
会長	<p>策定に携わった私にとっても耳が痛い話でございますが、これはまさに見直し、進捗状況の管理の中でご指摘いただくことによって、次なる計画への反映とともに、現行の施策の選定におきましても、示唆をいただけるものと認識しておりますので、引き続きご指導のほどよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>26 ページの「人材獲得・定着支援事業」のハッピー・パートナー企業がありますが、これは男女共同参画を推進している企業が登録されます。ハッピー・パートナー企業については、「男女共同参画」が関連しているということも表現できるといいと思います。</p>
委員	<p>どこに関連するのかわかりませんが、最近、私の周りでよく聞く話の中で、男女共同参画において、女性の生理用品には費用がかかるけれど、子どものおむつや、高齢者のおむつには補助があります。子育て中の親は、女の子がいっぱいいれば、毎月生理用品に費用がかかるため、そのような補助があると助かります。補助制度がある町に移住したいと私は思います。</p> <p>「最近、スコットランドなどで生理用品の無償化が法律で実現されているという話もありますので、こういった取り組みにはなかなか踏み込みにくい面もあるかもしれませんが、多くの人が望んでいると感じています。いろんなお母さん方に聞いてみると、生理用品は特に女の子の場合はかなりの費用がかかるという声を聞きます。月に 500 円から 1200 円程度の費用がかかることもあるようです。男女共同参画の視点で考えると、補助制度があるといいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>子どもが関わる部分ということですか。</p>
委員	<p>子どもだけでなく、女性特有の負担もあります。女性の給料が男性よりも少し低い状況もありますが、それでも毎月生理用品に費用がかかるという点が、大きな負担です。男女平等を考えるなら、そのような負担は男性にはなく、女性だけが負担しているということで、女性に補助制度があってもいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>全体を通して、いかがでございましょうか。特段ないようでしたら政策監、全体を通してコメントをお願いします。</p>
政策監	<p>本日はそれぞれの委員の皆様へ、大変貴重なご意見をいただきまして、また専門的知見から、様々ご意見いただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>私の率直な感想ですが、村上市の人口減少や高齢化が様々な場面に影響を及ぼしていると同ったように思いました。</p> <p>人口減少が学力低下にも影響を与えている、学校のクラスが多く編成できないから、学力低下につながっているのではないかと、空き家が増えて、それに関連する相談が寄せられている、さらに村上牛の生産も高齢化によって少なくなっている。また、ささえ～る隊の活動も、ご近所が 90 代の方々ばかりで、支えることが難しい状況だとか、さらに、耕作放棄が増えることで有害鳥獣の増加も懸念されている。これらのことが、人口減少と高齢化が村上市の大きな課題であることを改めて認識させていただきました。</p> <p>先ほど課長から説明がありました通り、子育てをメインに総合計画全体にしっかりとこの大きな課題に取り組む必要があると感じました。皆様のご指導を引き続きいただければ幸いですので、よろしくご指導申し上げます。ありがとうございました。</p>

	<p>あと1点、空き家に関して、私が少し関わっておりますので補足ですが、委員から空き家の解体補助についてご意見がありました。第2次空き家計画の改訂の際に、補助についての議論はあります。加えて、空き家を解体すると、住宅地特例の対象から外れて固定資産税が増えてしまい、経済的にも壁になるのではないかと議会の方からご指摘をいただき、解体の補助と合わせて、解体後一定期間は固定資産税を従前のまま低く維持することが可能かどうかなどを私も含め、税務課、市民課一緒に検討しているところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>特段何かご発言、このタイミングが最後ですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>追加の意見ですが、公式LINEの関係で、最近はクマなどの出没情報しか入ってきません。市報が発行された時などにリンクが張られるだけで、イベント情報などが入ってこないように思います。イベント情報などもリンクを貼るだけでなく、配信内容に工夫があるともっと登録者数が増えてくるのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>行政のお知らせでは、あまり面白くないです。やはり事前にこんなイベントがある、あんなことが行われるという情報を知らせてくれるだけでも、大分違います。ご意見として賜われます。</p> <p>4 その他 (事務局が説明)</p> <p>5 閉会 (あいさつ)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>